

未来の水素エネルギー社会構築に関する基本合意書の締結について  
～地域の水素バリューチェーン構築に向けて～

令和 5 年 11 月 22 日  
山 梨 県  
株 式 会 社 J E R A

山梨県（県庁：山梨県甲府市、知事：<sup>ながさきこうたろう</sup>長崎 幸太郎）と株式会社 J E R A（本社：東京都中央区、代表取締役社長 CEO 兼 COO：<sup>おくだひさひで</sup>奥田 久栄、以下「J E R A」という。）は、本日、「地域の水素バリューチェーン構築」を共同で推進していくことについて合意しました。

山梨県は、「やまなしモデル P 2 G システム<sup>※1</sup>」の導入拡大により、グリーン水素を活用した地域エネルギーモデルの構築を進めています。J E R A は、水素バリューチェーン構築へ向けた製造および輸送技術に関して、複数のグローバル事業者と協業検討を進めてまいりました。

山梨県と J E R A は、このたび、両者の強みである山梨県の P 2 G システムによる地域エネルギーモデルと、J E R A のグローバルなグリーン燃料のバリューチェーンを連携させることで、カーボンフリー電力と水素系燃料の安定した製造・供給と経済性が両立した「地域の水素バリューチェーン構築」を共同で推進していくこととしました。

まずは、山梨県の米倉山に水素発電装置を整備し、太陽光発電などを組み合わせた 24 / 7 カーボンフリー電力<sup>※2</sup>を山梨県内の企業、山梨県に事業所を構える企業等向けに提供するローカル発電技術実証試験を検討していきます。

山梨県と J E R A は、カーボンニュートラルの実現に向け、相互に連携し、幅広い分野での脱炭素化と、地域資源を生かした未来の水素エネルギー社会の構築に積極的に貢献してまいります。

※1：「やまなしモデル P 2 G システム」とは、最先端の技術を活用した固体高分子（PEM）形水電解装置によりグリーン水素をつくりだすシステム。

※2：「24 / 7（twenty-four seven）カーボンフリー電力」は、毎日 24 時間・毎週 7 日間、すなわち年間 365 日にわたって CO<sub>2</sub> を排出しない電力の名称となります。

<本発表内容に関するお問い合わせ先>

山梨県 企業局電気課新エネルギーシステム推進室  
(株) J E R A 広報部 報道ユニット

TEL：055-234-5268（直通）

Mail：Media.Relations@jera.co.jp